

Shape of

Natsuki Goto

glass work exhibition

2025

10.29 Wed.



11.24 Mon.

Opening hours 10:00-19:00

Open every day / Free admission

お問い合わせ

秋田公立美術大学サテライトセンター

(NPO法人アーツセンターあきた)

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp

Web <https://www.artscenter-akita.jp>

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催 | 秋田公立美術大学

企画・制作 | NPO法人アーツセンターあきた

Shape of

Natsuki Goto

glass work exhibition

2025

10.29_[水] → 11.24_[月]

開館時間 10:00 - 19:00

会期中無休 / 観覧無料

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催 | 秋田公立美術大学

企画・制作 | NPO法人アーツセンターあきた

お問い合わせ

秋田公立美術大学サテライトセンター

(NPO法人アーツセンターあきた)

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp

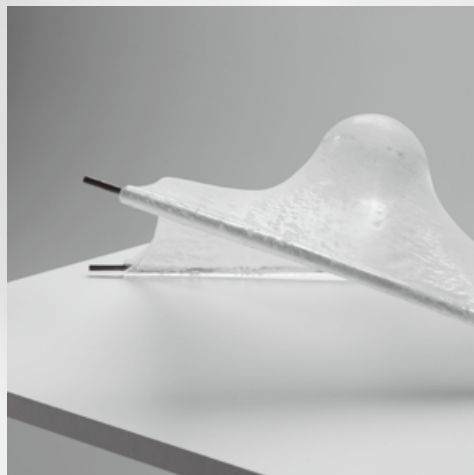
Web <https://www.artscenter-akita.jp>

秋田公立美術大学の卒業生シリーズVol.15として、ものづくりデザイン専攻を2023年に卒業した後藤夏希を特集します。

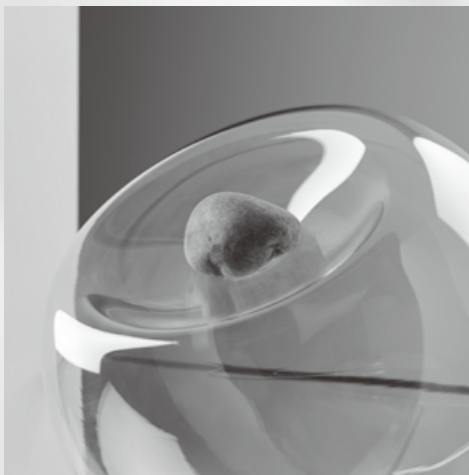
後藤は「見えない力を可視化する」というコンセプトのもと、重力や熱などの自然現象をガラスという変容性の高い素材を用いてダイナミックかつ繊細な造形で具現化します。偶然性を味方に流動的経過を表すその形態は自然でありながらも意図的で計算されたかたちへと姿を変えていきます。2025年に東京藝術大学大学院を修了後も作品制作を続け、幾度となく繰り返された試みは今もなお継続され新しいかたちを生み出しています。ガラスを吊り下げ、熱を加えることで、自然現象そのものが作品の「共同制作者」となります。作家の手を離れ、絶妙なバランスで変化していくガラスの造形は、物質と非物質、静と動が交錯する緊張感を帯びています。それは自然の力がかたちとなって現れる、まさにその瞬間の美しさです。

本展覧会では、そうした見過ごしさがちな自然の力を、ガラスという素材を通して可視化した作品を紹介します。またギャラリートークでは、人工と自然、物質と非物質の間の境界線について、作家自身の言葉で紐解きます。

〈N〉 2025



〈Pa〉 2025



〈N.II〉 2024



Profile

後藤夏希(ごとう・なつき)2000年宮城県生まれ。2023年秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻卒業。2025年東京藝術大学大学院修了。

「目に見えない自然現象の可視化」をコンセプトに作品を制作。重力や熱によって繊細に形を変えるガラスを主な素材とし、自然現象そのものを「つくり手」として迎えることで、その働きによって生まれるかたちを作品として捉える。素材の物理的変化と人の介入の間に現れる表現を通して、自然の摂理と人間の関わり方を考えている。

Event

ギャラリートーク

「かたちを捉えるということ」

作品に込められた制作意図や、在学中から現在に至るまでの探求の軌跡に触れながら、日常に潜む「見えない力」への気づきなど、会場の作品の前で作家自身の言葉で紐解きます。

ゲスト | 瀬沼健太郎

(ガラス工芸家、秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻准教授)

日時 | 11月24日(月) 17:00 ~ 18:00

会場 | 秋田公立美術大学サテライトセンター

※参加費無料・申し込み不要

Access



秋田公立美術大学サテライトセンター

所在地 / 秋田市中通二丁目8-1 (フォンテAKITA 6階)

※車でお越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。